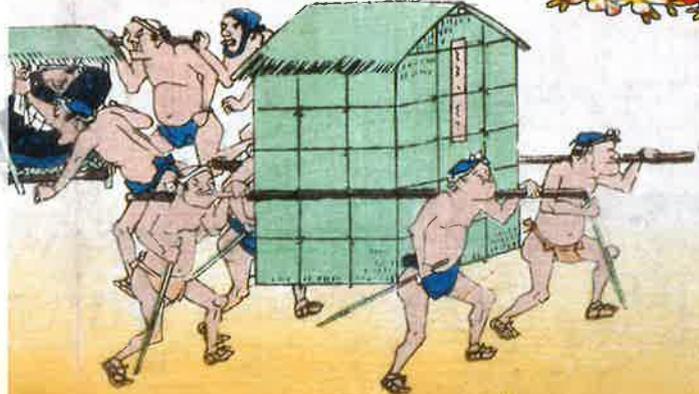


浮世絵から  
知ろう！

廣重



草津宿街道交流館  
令和7年春季テーマ展

# 江戸時代の出版事情

東海道  
五拾三次之内

草津

令和7年3月15日㊥▶5月11日㊤

【会場】 草津市立草津宿街道交流館 2階展示室 (滋賀県草津市草津三丁目10-4)

【休館日】 3月17日・21日・24日・31日、4月7日・14日・21日・28日・30日、5月7日 【開館時間】 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

【観覧料】 大人 200円(160円)、高校・大学生 150円(120円)、小中学生 100円(80円) ※( )は20名以上の団体料金 ※史跡草津宿本陣との共通券あり

【主催】 草津市・草津市教育委員会

上：歌川広重「東海道五拾三次之内 草津」竹内孫八板(草津市蔵)  
下：「東海道名所図会」姥ヶ餅屋(草津市蔵)部分

江戸時代の初頭、京都で始まった製版印刷は木版で大量に印刷することで安価に提供できるようになり、人気を博します。それを担ったのが印刷する「版」をプロデュースし売り出した「版元」です。大坂で刊行された、人々の生活や風俗を描いた「浮世草子」は流行りに流行り、やがて京都、江戸をも巻き込むベストセラーとなりました。そして、貸本屋が主流だった出版界に新たな風を吹き込み、江戸の版元は一枚売りで大量に印刷し売り出せる多色刷の「浮世絵版画」を生み出したのです。

江戸時代も後半、盛り上がった旅ブームにおされて旅の案内書「名所図会」が大ヒット!刊行の波は瞬く間に江戸へひろがりました。これは売れる!江戸の版元が売り込む「浮世絵」にも旅をテーマにした新たなジャンルが生まれます。

さて、いったい何が流行るのか?時代を予測し商品売る!企画する版元の腕の見せどころでございます!

### 時代の波に乗れ! 旅ブームと出版

わかりやすい説明と大きな挿絵。  
旅の案内書「名所図会」は  
編者と絵師がタッグを組んで売り上げ急上昇。  
旅の浮世絵ネタは名所図会で探せ!



▲歌川広重画「五十三次 草津」  
村田屋市五郎板  
(草津市蔵・中神コレクション)



▲「東海道名所図会」青花(草津市蔵)部分

### 求められるもの! 旅情と情景

大評判! あの手この手で描く東海道五十三次  
憧れの旅、行った気分になってみる!



▲葛飾北斎画  
「東海道五十三次 草津」  
伊勢屋利兵衛板(草津市蔵)

### もっと売りたい! 旅の名所

定番ネタにひと工夫!  
テイストの違った近江八景。  
オーソドックスから見立てまで!  
見て楽しむ諸国六玉川。



▲歌川広重画「諸国六玉河 近江野路之玉川」萬屋重三郎板(草津市蔵)



歌川(玉蘭齋)貞秀画「今様近江八景」藤岡屋慶次郎板(草津市蔵・中神コレクション)▲

**史跡草津宿本陣 一般公開再開のお知らせ**  
史跡草津宿本陣は耐震工事を終え、4月1日(火)より、  
一般公開を再開いたします。

## 草津宿街道交流館

東海道と中山道が合流する宿場町の歴史館



入館料	大人	高・大学生	小・中学生
単館券	200円(160円)	150円(120円)	100円(80円)
共通券★	350円(320円)	260円(240円)	180円(160円)

※( )内は20名以上の団体料金です。  
※市内に在住する65歳以上の方は小学生・中学生の金額と同額です。  
※市内に居住する障がい者の方ならびに介護する方は無料です。  
※毎週土曜日、5/5こどもの日は小・中学生は無料です。  
※共通券は、史跡草津宿本陣・草津宿街道交流館の両施設にお入りいただけます。  
(★共通券の販売は史跡草津宿本陣の一般公開再開(4月1日)以降となります)  
【開館時間】9:00~17:00(最終入館は16:30まで)  
【休館日】月曜日(休日の場合は翌平日)・休日の翌日  
〒525-0034 滋賀県草津市草津三丁目10-4  
TEL:077-567-0030 FAX:077-567-0031  
<https://www.city.kusatsu.shiga.jp/kusatsujuku/>  
X(旧Twitter)・Instagramも日々更新中!



ホームページ

【JR線でお越しの場合】  
JR草津駅東口より徒歩15分  
草津駅へは新快速で大阪駅から50分・京都駅から20分

【お車でお越しの場合】  
名神栗東IC・新名神草津田上ICより国道1号線経由約15分